

交通事故で多数負傷

初動から処置確認

の
山科病院で訓練

交通事故で多数の負傷者が出た場合を想定

した救急訓練が26日、

京都市山科区音羽珍事

町の洛和会音羽病院で

あつた。医師や看護師

をはじめ、山科署や山

科消防署から約140

人が参加し、現場での

初動から病院搬送後の

処置まで一連の対応を

確認した。

訓練は、同病院が非常時の対応と関係機関との連携を確認する目的で毎年行っている。

今回は山科駅前で自動車が暴走し多数の歩行者をはねたーとの設定で実施した。

治療の優先度を判定する「トリアージ」を行つた。救命救急センターレに重篤な負傷者から次々と搬送されると、医師らは隊員から状況報告を受け、急救治療に当たつていた。

(長谷川真二)

同病院駐車場に事故

現場が再現され、救急

隊員らは「負傷者」のけがの具合を確認し、



訓練で、けが人の状況を医師に説明する救急隊員
(京都市山科区・洛和会音羽病院)